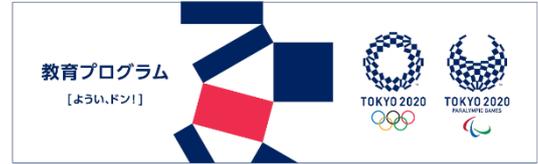


のぎわっ子

平成29年度
学校だより
磐田市立東部小学校
平成 29 年 10 月 17 日

10月全校会礼 校長式辞 「使っても減らないもの」



広島平和記念式典に参加した児童の体験発表を聞いて、みなさんは、どんな感想をもちましたか。戦争や原子爆弾の恐ろしさ、そして、私たち一人一人が、平和について考えなければならないと思いました。貴重な体験発表をありがとう。

昨日、6年生が市内陸上大会で大活躍してくれました。さらに、他校の応援に来られた方から、

今日、午前中エコパへ行きまし。仕事の都合で帰ろうと、ゲートを出て来たら、男の子が立ち止まり「こんにちは！」と声を掛けてくれました。知り合いでもないのに、大きな声で立ち止まってくれて、なかなか出来ないことだなと思い、「学校どこ？」と聞いたら「東部小です。」と答えてくれました。さわやかな気分になりました。

といううれしい電話がありました。さすが、東部小のリーダー6年生です。ありがとう。

さて、みなさんに質問します。「使えば減ってしまうものは」と聞かれば、いろいろなものが頭に浮かびますね。鉛筆、消しゴム、絵の具、セロテープ、お金など、ほとんどのものが、使えば減ります。「使っても減らないものは」と聞かれたら、どんなものを頭に浮かべますか。校長先生が考えた答えは、「やさしい心」です。親切ややさしい心は、使っても、使っても減りません。減らないばかりか、心が豊かになり、友達が増えていきます。

でも、いじわるな心はどうでしょう。使っても減りませんが、心が汚れ、友達も減っていきま。こわいですね。

では、「やさしい心」は、目には見えません。どうしたら、やさしい心を相手に届けることができるのでしょうか。いろいろな届け方がありますが、一つは、「ことば」です。友達のことを考えて、「ふわふわ言葉」を使うことです。「ありがとう」、「がんばろうね」、「応援しているよ」、「どんまい」、「さすが」などことばを使って、やさしい心を届けるのです。

逆もありますね。「ばか」、「むかつく」、「どっかいけ」、「調子にのるな」などの「ちくちく言葉」を使うことでいじわるな心を届けることとなります。

「ちくちく言葉」は、友達をいやな気持ちにさせるだけでなく、使った人の心も汚していきます。

4月の始業式で、「夢をもち、みんなと学ぶ」について、お話をしました。その中で、「友だちがいたからできた。」「友だちがいたから頑張ることができた。」というように、「みんなと学ぶ」ことの大切さや友達の大切さをお話しました。

ぜひ、「ふわふわ言葉」を使って、KTAのTを輝かせてほしいです。

もう一つ、お知らせがあります。今年は、磐田東小、御厨小、南御厨小の3つの小学校が一つの小学校、東部小学校になって60年目を迎えます。東部小学校は60歳ということです。そこで、6年生の企画委員からお話があります。



「みなさんは、東部小学校と言えば何を思い浮かべますか。この特色豊かな東部小学校が60歳を迎えたことを記念して、企画委員会では、東部小のマスコットを作ることを計画しています。これには、全校のみなさんの協力が必要です。ぜひ、しっぺい君に負けないマスコットを作りましょう。」

ありがとう。今日は、「うれしい電話」と「ふわふわ言葉」、そして、「マスコット」についてお話をしました。